

勘十先生「勞農露國」の著者赤松克麿先生、本部理事麻生久先生を迎ふ。棚橋氏は都合あり來足せざりしが、赤松、如藤兩氏は十日正午來足せり。九日夜麻生氏來足するや、萱場保安課長は臨時警備隊長の資格を以て麻生久氏を警察に招き、十日の示威運動に就て懇談するところあり、麻生氏は示威運動を殊更に爲さんとするに非ず、労働者全部は十日午後通洞に着する加藤、赤松兩本部相談役を迎へ本山城崎座に赴くのみ、官憲が是をしも沮止せんとの意嚮ならば又何をか云ふべきとして非公式に示威運動をなすべき意を述べ退出せり。

栃木縣警察部が、萱場保安課長を臨時警備隊長として足尾に派遣するや、左の制令を出せり。

當足尾町に於ては公安保持のため左の行爲の如きはなさざる様注意せらるべし。

一、示威運動を行ふこと

一、屋外に多衆集ること

一、人を煽動誘惑すること、不穩に與るが如き文書圖書を掲示又は配付をなさざることを以て、萬一の場合を慮り、治安警察法適用の内指令を司法大臣に仰ぎし程なるが、同氏自身としては飽迄不檢束主義を持し、終始愉らざることを欲したり。同氏がかゝる方針を採りしは、未だ年少（二十八才）たることも一因なりしべけれど、一面には一昨年の足尾の騷擾、昨春八幡製鐵所を視察したる同氏の眼には、今回足尾の労働者が持する態度の如何にも秩序的なることを強く印象したるが如し。

足尾の労働者は例へば停車場に人を迎ふる際の如き客馬車のために通路を開き、一般乗降客が自由に通過し得る間隔を置き、其悉く去るに非れば停車場を動かす、途中は少數にて三列又は四列を組み、軍隊の如くに整調を保ちて素することなかりき。此動作は獨り萱場警視の眼に映じたるのみならず、一般同地視察者に同様の感を與へたり。殊に熾烈なる感激を有しながら。幹部の節度に全部的信頼を捧げ、内訌的言辭を吐くが如きこと毫もなかりしは視察者をして彼等の自覺の程度に對して相當の敬意を拂はしめたり。

光武憲兵大尉は約十名の憲兵を率いて九日來足し、警察署樓上を本據としたるが、十日頃には宇都宮師團の一部出動の報傳はれり。

▽三山合同の示威運動

麻生氏來足の九日夜通洞支部にては飽く迄會社に復職を要求し、若し容れられずんば、連袂退山すべしとの連判帳を取り、十日朝迄之を完了せり。

十日は三山の公休日なり、豫て計畫されたる示威運動は午後零時四十分、赤松、加藤兩氏來足するを迎ふるを口實として決行さる。通洞、小瀧、本山の労働者約二千五六百名は、麻生氏を擁して通洞驛に「本部員歓迎」の大旗を翻して加藤、赤松兩氏を迎へ、三列縦隊を組み革命歌を高唱しつゝ、本山城